

群馬工業高等専門学校	開講年度	平成30年度(2018年度)	授業科目	英語A
科目基礎情報				
科目番号	1A007	科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2	
開設学科	一般教育	対象学年	1	
開設期	通年	週時間数	2	
教科書/教材	Grove: English Communication I			
担当教員	横山 孝一			
到達目標				
<input type="checkbox"/> 授業で習った高専1年生レベルの英単語を理解し、アクセントに注意して発音することができる。 <input type="checkbox"/> 授業で習った高専1年生レベルの英文法を理解し、練習問題・英作文等で応用することができる。 <input type="checkbox"/> 授業で習った英文を読んで理解し、必要に応じて表現や内容の一部を利用することができる。 <input type="checkbox"/> 授業で習った表現と文法を使って簡単な英文を書くことができる。				
ループリック				
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1	習った英単語を理解し、アクセントに注意して発音できる。	習った英単語を理解し、概ね発音できる。	習った英単語を発音できない。	
評価項目2	習った英文法を理解し、応用できる。	習った英文法を理解できる。	習った英文法を理解できない。	
評価項目3	習った英文を読んで理解し、使うことができる。	習った英文を理解できる。	習った英文を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係				
教育方法等				
概要	英語で書かれたバラエティーに富んだ読み物を精読することで、英文法、発音、アクセント、リスニング、ライティング等を総合的に学習する。			
授業の進め方・方法	新出英単語の発音練習。本文のリスニングと音読。論の展開に注意しながら一文ずつ文法的に理解し、ペアでさらに音読練習。練習問題を経て、英訳・会話練習へと進めていく。方法は、CD playerを活用しながらペアワークも取り入れた演習形式の座学。			
注意点	英語を勉強する目的をしっかりと自覚し、予習・復習を早く習慣づける。			
授業計画				
	週	授業内容	週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	授業の進め方と例+L1	英語学習の目的と方法を理解する。
		2週	L1 Omotenashi: The Spirit of Japan	主部と述部(以下、理解と応用を目標とする。)
		3週	L1	S V, S V C, S V O
		4週	L2 Why Is That So?	冠詞+名詞
		5週	L2	不定詞、動名詞
		6週	L3 The Bento Goes International	進行形
		7週	前期中間試験	
		8週	テスト返却+L3	S V O O
	2ndQ	9週	L3	S V O C
		10週	L3	句読法
		11週	L4 Owen and Mzee: An Amazing Friendship	現在完了
		12週	L4	S V O (=that)
		13週	L4	過去完了
		14週	L5 The Impossible Is Possible	分詞
		15週	L5	to不定詞
		16週	前期定期試験返却、L5	受け身
後期	3rdQ	1週	L6 Eric Carle: How He Creates His Art	関係代名詞
		2週	L6	to不定詞
		3週	L6	関係代名詞what
		4週	L7 The Netherlands: Living with Water	比較
		5週	L7	S V O + to不定詞
		6週	L7	S V O O (=that)
		7週	後期中間試験	
		8週	テスト返却 L8 Collective Intelligence	S V O (=疑問詞節)
	4thQ	9週	L8	S V O C
		10週	L8	S V O C
		11週	L9 10 Billion	現在完了進行形
		12週	L9	仮定法過去
		13週	L10 One Child, One Teacher, One Book and One Pen	仮定法過去完了
		14週	L10	分詞構文
		15週	L10	強調構文
		16週	後期定期試験	
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標				
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル
				授業週

基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞くことができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	
				それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	
	工学基礎	グローバリゼーション・異文化多文化理解	グローバリゼーション・異文化多文化理解	それぞれの国の文化や歴史に敬意を払い、その違いを受け入れる寛容さが必要であることを認識している。	3	

評価割合